

記入例

授業料減免・徴収猶予申請書

申請日を入力してください。

申請者本人が自署してください。
(Excel入力不可)

後期からの新規申込者用

1 申請者情報

フリガナ	ケン ヒロ	学 籍 番 号	2501234		
申請者氏名 (自署で記入)	県 広	県印	学 年	2年	押印してください。(留学生で印鑑がない方はサイン可)
学 部 ・ 研 究 科	地域創生学部		学科・課程 専攻	地域創生学科	
入学年月	2025 年	☒ 春入学	☐ 秋入学		
申請者住所	〒734-8558 広島市南区宇品東一丁目1番71号 申請者の現住所を記入してください。				
自 電 話 番 号	(082)251-5178	携 帯 電 話 番	090-1234-56	学生本人が入力してください。	
保 護 者 等 ① 氏 名	県 大	本人との続柄	父	居住状況	☒ 日本国内に居住
保 護 者 等 ① 住 所	〒727-0023 広島県庄原市七塚町5562番地 日本国内に保護者が居住している場合は✓してください。				
保 護 者 等 ② 氏 名	王 芳	本人との続柄	母	居住状況	☐ 日本国内に居住
保 護 者 等 ② 住 所	〒××××××× 中国北京市×××××番地 2026年1月1日以前から日本に居住している場合は✓してください。				
居住状況	☒	前年1月1日以前から日本に居住している			
入国日	2025 年 4 月 1 日				
休学・留学歴のある場合 ※該当者のみ記入	2025 年 9 月 24 日 ~ 2025 年 12 月 31 日 該当者のみ入力				

2 希望する制度及び期間

授業料減免	☐ 前期(4月~9月)日	☒ 後期(10月~3月)	今回は「後期」のみの募集です。
授業料 徴収猶予	☐ 前期分徴収猶予日: ~ 年 月 日		
	☒ 後期分徴収猶予日: ~ 2027 年 2 月 28 日		

※希望者のみ

減免に申請した場合、前期授業料の納期限は、在学生:11月2日、令和8年度秋入学生:11月30日です。
この期限に納付が困難である方は、徴収猶予もあわせて申請してください。

3 理由

申請理由を具体的にわかりやすくご記入ください(家計状況や家族状況等)

(例)
物価や光熱費の高騰により、父親が勤める会社の業績が悪化し、それに伴い収入が大きく減少しました。今までは学費や生活費、教材費などを負担してもらっていましたが、今後は学生生活に必要な費用を自身で捻出しなければいけない見込みです。
私は、入学時から〇〇〇奨学金を月4万円受給しており、また、週3日の塾でのアルバイト収入月3万程度を生活費・学費に当てています。今後は学業に支障がない程度に、アルバイトを増やすとともに、この授業料減免により、家庭への負担を軽減したいと考えています。

制度を利用しなければならない「①経済的な理由」及び「②学費及び生活費を確保するための自助努力」について、具体的に記入してください。

【例】① 経済的理由

家庭の収入が少ない、兄弟が多い、家族の病気・障害・介護が理由でお金がかかる
親から生活費・学費の援助をしてもらえない、親が働けなくなった
※ローン等の自己都合によるものは、授業料減免の審査において考慮されません。

例)住宅ローンの返済、自動車学校や公務員予備校等への通学、留学等

② 学費及び生活費を確保するための自助努力

日本学生支援機構貸与奨学金や民間等の受給している奨学金(いつから、月いくら受給している)

※これから申請予定でも可

アルバイトの頻度(週〇日)及び月の収入金額

※学部1年生は現在、自助努力がない場合でも、今後の予定を記載してください。

4 家計急変情報 ※該当者のみ記入

生計維持者の一方(又は両方)が死亡、事故又は病気により、半年以上、就労が困難又は失職(非自発的失業の場合に限る)した場合	事由発生日： 年 月 日				
	対象となる生計維持者： ☐ 父 ☐ 母				
学生本人が震災、火災、風水害等に被災した場合	被災日： 年 月 日				

この部分に記入する事項がある場合は、事前に教学課に相談し、提出書類等を確認してください。